

# 2022年度 年末手当 妥結 基準内賃金×1.62カ月

支払指定日:12月9日(金)

**全国の青年部員の皆さま、年末手当の取り組みお疲れさまでした!**

JR貨物労組は、本日20時30分より最終交渉に入り、2022年度年末手当について『基準内賃金×1.62カ月』で妥結しました。

慢性的な要員不足と、そこに追い打ちをかけるコロナ感染の再拡大、さらには災害による異常時対応が求められる中、全国の青年部員は指定公共機関としての使命を果たし、安全・安定輸送を担ってきたことを会社に訴えてきました。

結果、貨物労組が要求していた2.9カ月から乖離がある数字ですが、第3回交渉の「2020年度の年末手当より厳しい」という会社の考え方から『1.62カ月』まで押し上げることができたのは、まぎれもなく全国の青年部員がコロナ禍の中でもレクや集会などに結集し、意思統一をした上で職場から闘いをつくり上げた成果です!

**社長! 職場で何を見て、何を聞いてきた!!!?**

昨今の情勢に伴う原油高・原材料費高騰により、10月の消費者物価指数が3.6%と、第二次オイルショック以来の高水準となり、青年部員の生活はさらにひっ迫している! そうした実態を職場に入った社長は目に、耳にしているはずだ! 政府や経団連も、企業に対して賃上げを要請しているにも関わらず、なぜこのタイミングで出せないのか? これでは青年部員のモチベーションは一向に上がらない!

**数字優先で実態を見ない経営陣の姿勢を許さない!**

**年末手当の成果と課題を明確にし、さらなる団結力・発信力をもって**

**2023春闘に臨んでいこう!!**